

ORAL ACADEMY



Oral Academy

オーラルアカデミー商品使用説明書 Vol.2



<https://oral-academy.com/>

たんたんめーたー 舌筋力測定器

★新商品★



使用目的

食べ物がうまく飲み込めない、食べ物がのどにつかえる感じがする、口が閉じてなく舌が下がっている、口で呼吸しているようなことがある場合は、舌の機能がたりない可能性があります。
舌がどのように機能しているかを目で見ることができませんので、「たんたんめーたー」を使用して舌の筋力を数値で測定します。

使用方法

1. 測定器本体の目盛りを0に指で設定します。必ず毎回測定する前に指で目盛りを0に戻してください。
2. 本体はまっすぐ持ち、スプーンの曲面を軽く舌の上ののせデコボコ面に上の前歯を軽く置きます。口は開けたまま舌だけの力でスプーンの A から B の部分をゆっくりと押し上げ、つらいところで押し上げるのをやめます。
3. 測定器本体の目盛りの位置が舌筋力の値です。
3回測定して真ん中数値を記録帳に記入します。



基準値

年齢とともに舌などの筋力は落ちていきます。正常値として2.0kg前後を目安にしてください。

関連製品

製品のカバーとしておすすめです！

ディスポーザブルで患者様ごとに交換でき衛生的です。



たんたんめーたーがびったり入ります！

ディクシー衛生カバー II

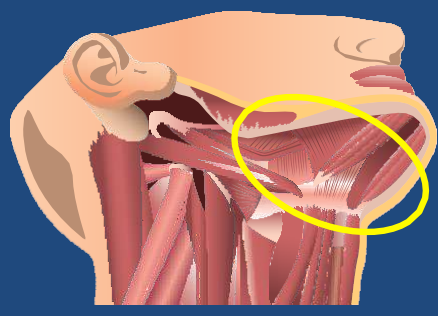
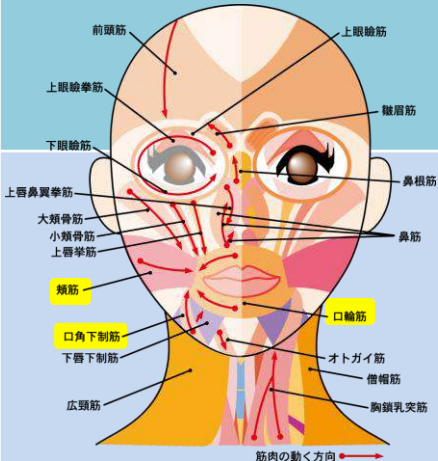
【お取り扱い先】株式会社ジーシー

■仕様65×220mm

包装	価格
1箱 300枚入り	¥12,800

※株式会社ジーシー様と機械製品の取引のある歯科材料販売業者よりご購入頂けます。出入りの歯科材料販売業者等にお問い合わせくださいませ。

あげろーくん/とじろーくん/リットレメーターMedical製品 筋力トレーニング器具

商品名	部位	使用目的	対象例
あげろーくんMメディカル …舌をあげる訓練 	舌筋群	舌筋群の挙上力 	舌挙上力の低下による弊害 etc  舌が下がると、気道狭窄、舌骨低位、二重あごなどが起こります 舌根が沈下すると、いびき・無呼吸症候群の発症原因になります。
とじろーくんMメディカル …簡易トレーニング 	口輪筋	口輪筋の閉鎖力 (唇を強く閉じたときの力)  	ポカン口 etc. 誰でも口を開けたまま食事をすることはできません。私たちは、食事中咬む筋力(咀嚼筋)以外にもいろいろな筋肉を使っています。口を閉じて食事をするには口輪筋のはたらきが必要です  入れ歯は口の周りの筋肉で支えられています。筋肉が衰えると入れ歯を支えることも出来なくなる場合があります。
リットレメーターMedical …本格的トレーニング 		口輪筋(唇の引っ張る力)のトレーニングと力の測定 	ポカンと開いて「への字」の口元、筋力の測定をしたい人 etc. 唇の形や頬は左右対称ですか？ 口輪筋は頬筋に付着しています。左右の頬筋の緊張に差があれば強い頬筋に引かれて非対称になります。頬筋が緊張すれば頬がすっきりして小顔になります。  口輪筋が弱いと左右に付着した口角下制筋が唇を下方方向に牽引するので口角が下がリ唇が<への字>になる場合があります。

パナリング

使用目的

パナリングとは噛むトレーニングをするための器具です

適切な咬合力が加わることで歯は正しい位置に並びます。
バイオロジカルな治療の基本は食事指導ですが、それでも口腔周囲組織の
発達が足りない場合にはパナリングを使った噛むトレーニングを指導します。



臼歯部用

前歯部用

指導上のポイント

使用方法

パナリング付属説明書をご覧ください。

▶ トレーニング指導法① 前歯で噛む指導

指導目的：前歯部歯槽突起の育成、歯軸傾斜の改善のサポート

対象：以下が見られる場合①中顔面の発育不足 ②拡大後の歯軸傾斜、離開 ③開咬 ④発育葉の残存

例)開咬・浅い被蓋は、噛むことで閉じていきます



例)歯軸傾斜は、スペースがあれば噛むことで整直していきます



↑前歯部の発育葉が咬耗せずに残っているのは、普段前歯を十分に使っていないということです

▶ トレーニング指導法② 前噛みの指導

指導目的：後退した顎位の改善サポート

対象：アングル2級の奥噛み癖が見られる患者

アングル2級の患者さんは、下顎を後退させて
奥歯だけでものを噛む癖(奥噛み)を有することが
あります。リングを前歯で噛んだときに比べて、
リングを大臼歯で噛んだとき下顎が大きく後退するよう
なら、奥噛み癖があることが疑われます。この場合は正しい位置で噛むトレーニングをします。

★顎位が変わると顔貌が変わります



大臼歯で噛むと
下顎が大きく後退します



前歯で噛むと下顎は正しい位置
(アングル1級)になりました。

▶ トレーニング指導法③ 臼歯で噛む指導

指導目的：咀嚼筋の発達、歯根膜活性化のサポート

対象：①咬合力が小さい ②臼歯の被蓋が浅い、歯軸傾向が見られる ③自然保定を期待

咬合力は成人で300N、10歳児で200N以上必要です。[N:ニュートン 1N=0. 098kg重]

咬合力が小さい患者さんはこのトレーニングにより咀嚼筋の発達・咬合力の向上を図ります。

指導上の注意

- ・ 過度のトレーニングは避けてください。
 - ・ 歯・顎関節の痛みやアレルギー症状など、異常が現れた場合には使用を中止してください。
 - ・ 使用後は流水でよく洗って乾燥させ、風通しの良い場所で保管してください。
 - ・ チューブは消耗品です。劣化したら新しいものに交換してください。
- ※パナリングのチューブは、環境ホルモンに対して安全性を考慮した素材組成からなる
オーラルアカデミーオリジナル製造品です。



ポカンX(エックス)



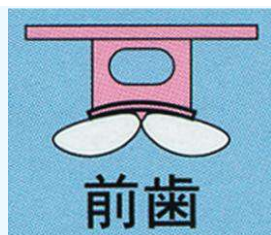
使用目的

ポカンX(エックス)は 唇の閉じる習慣を促すトレーニング器具です

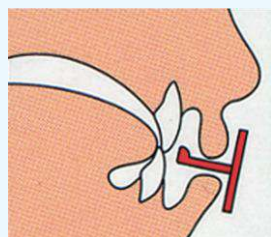


ポカンXの下部にある穴に携帯ストラップやコイン(約4g)を付ける事で不可加重をもたせ、トレーニングの効果を上げる事ができます。

使用方法



- ① 上顎中切歯の間にポカンXの溝をあてます。



- ② 唇でポカンXをそっとホールドします。(口唇に力を入れないように一日30分以上続けます。)

指導上のポイント



トレーニングの効果が上がりやすいのが、テレビを見ているときやゲームをしている時です。

習慣化の理論として、「苦しい事(勉強やその他のトレーニング)にプラスしないで、楽しいこと(ゲームやテレビ)にプラスすると効果が上がる」と言われています。ポカンXをテレビの横に置き、トレーニングが習慣化しやすい環境を作る指導も必要です。

指導上の注意

- ・ ポカンXの穴が下、ポカンXの板が顔面と平行になるように装着してください。
- ・ 使用後は水洗いし、清潔な場所に保管してください。
- ・ 低年齢の小児の場合には保護者へご指導ください。
- ・ 必ず十分な指導の下に患者様にお渡しください。
- ・ 目的用途以外の使用はしないでください。

タッチスティック

使用目的

タッチスティックには2つの治療目的があります。

1. 溝に合わせて咬合することで下顎を正しい位置に誘導します。
2. 口腔内のスプーン上の坂に舌を載せる事で、舌の位置を正します。

種類

タッチスティックには合計6種類あります。
使用年齢、咬合様式、スプーンの形状の違いで使い分けます。

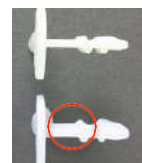
計6種	タッチスティック2 正常咬合	タッチスティック 切端咬合	タッチスティック 正常咬合
大(成人用)			
小(小児用)			

◆タッチスティック2とタッチスティックの違い

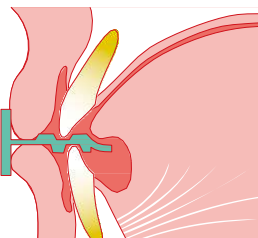
タッチスティック2(上)はスプーン部の角度が高くなっています。

◆正常咬合用と切端咬合用の違い

切端咬合用(下)はⅢ級で構成咬合が取りづらい患者さんのために使用します。治療経過により、正常咬合への交換が可能です。

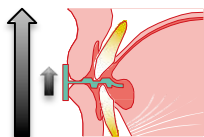


使用方法



- ①タッチスティックの溝に合わせて上下顎前歯の切端がはまるように軽く咬合します。
- ②口唇でタッチスティックをそっとホールドします。
(口唇に力を入れないように)
- ③舌の先端をタッチスティックのスプーン部にのせ、舌全体が口蓋に挙上することを意識します。
一日30分以上続けます。

指導上のポイント



タッチスティックは必ず板面と顔面が平行になるようにくわえるよう指導をしてください。
角度がついたままくわえると、下顎の誘導の効果が出ません。



トレーニングの効果が上がりやすいのが、テレビを見ているときやゲームをしている時です。
習慣化の理論として、「苦しい事(勉強やその他のトレーニング)にプラスしないで、楽しい事(ゲームやテレビ)にプラスすると効果が上がる」と言われています。テレビの横に置き、トレーニングが習慣化しやすい環境を作る指導も必要です。

指導上の注意

- ・ 使用後は水洗いし、清潔な場所に保管してください。
- ・ 低年齢の小児の場合には保護者へご指導ください。
- ・ 必ず十分な指導の下に患者様にお渡しください。
- ・ 目的用途以外の使用はしないでください。

パナスティック

使用目的

前歯部の被蓋改善: 前歯が浅く交叉している場合に、パナスティックで患者さん自身に弱い力を加えてもらい、被蓋改善を行う事を目的としています。

アイスの棒やスプーン、木のマドラーなどでも可能ですが、力のかけすぎや棒が不潔になる、患者さんのモチベーションがあがらない、万が一加えたまま転んだら棒が喉にささる危険性があるなどの欠点があり、それを改善したものがパナスティックです。



右上側切歯の交叉



木のマドラーで押す



3カ月後 改善



—特徴—

スティック部のアールを変化させる事で適度な「しなり」を与えて歯牙への過負担を防止し、先端部の歯のマークは滑り止めとして働きます。さらに、リング部に指を引っかける事によって、万が一の場合の喉への侵入を防ぎます。また、口腔内へ安全に使用できる許可を得たプラスチック製品ですので、洗浄により清潔に保てます。患者さんも無料の木の棒よりも専用器具として渡される事によりモチベーションがあがります。

使用方法

1. 歯の絵のある表側を上とし、T字の引っ掛けを下にして、T字の部分を「てこの支点」として下顎切縁にひっかけ、なるべく弱い力で後方に押します。

表(上)



裏(下)



リングに指をかけ力をかける



2. 歯は弱く、長時間の力の作用で動くことを患者さんに説明し、家にいる時(特にテレビや読書等の時間)に出来る限り行う事を伝えます。
3. 定期的に歯牙の動きをチェックします。
注意: 歯牙を押し出すスペースがない、または隣接歯が前方にロックしている場合は効果がありませんので、側方拡大等でスペースを作ってからご使用ください。

適応

交叉の程度が重度ではなく、前歯が前方に出るスペースが十分にあり患者さん(保護者を含め)が治療を十分に理解し、かつモチベーションが高い場合に効果的です。効果が認められない場合には、他の治療器具をご使用ください。

セレブリーズ

リップシール(口を閉じる)
が治療の基本です！

使用目的

鼻呼吸を促進する口止めテープです。

寝ているときに口がポカンと開いてしまう人は、舌が常に低位にある可能性があります。舌はさまざまな筋肉と付着しており、舌のポジションが下がることで、顎の位置が悪くなります。口呼吸による顔の変化は、表情筋が引き締まっていない、顔が面長になる、鼻下が伸びる、目が垂れ下がるなどが見られます。鼻呼吸を習慣づけることが大切です。

使用方法

1. 口まわりの水分など油分をしっかりと拭きます。鼻下から顎に向かって空気が入らないように貼り付けます。
2. これを約3週間程度毎日欠かさず続けます。

使用例



☆口がしっかりと閉じられると顔が良い方向に成長します。口を閉じると顔まで変えられるという意識を患者さんにもってもらえると治療のモチベーションが上がります。

ポカン口の状態は口呼吸であり、細菌が直接咽頭に侵入してしまいます。口腔や喉が乾燥して無防備な状態になります。それは風邪や肺炎などを発症させ身体への侵襲的状态を起因する可能性があります。

参考メモ

- ▶ アレルギーや風邪で鼻がつまっているため鼻呼吸の力が弱い場合は、まずは耳鼻科への通院をオススメしましょう。
- ▶ マウステーピングはあくまでも一時的なものです。本来であれば、何もしなくても口を閉じたまま眠れますが、舌筋や口輪筋の機能が衰えると、口が開きやすくなります。
- ▶ これらの治療と同時に、まずは日中でも口を閉じるための意識やトレーニングで筋力を高めましょう。
- ▶ お子さんの場合は、5歳をめどに始めてください。起きている時に、1時間ほど試して練習しておくとおスムーズです。

パナシールドプラス/試適用

使用目的



パナシールドプラス
(前歯部～小臼歯部にくぼみがあります)



試適用は、前歯部にカットが入っています。
治療には使用しないでください。

(別売)



下記の機能により、**成長期の小児の顎・歯列の正しい成長発育を促進する事を目的とする。**

1. 舌の姿勢位を正しい位置に誘導すること(舌の挙上)で低位舌を改善し、下顎に加わる舌圧を排除して、舌と顔面の筋群による筋機能のバランスを整える。
2. 口唇閉鎖力を向上させ、**鼻呼吸を獲得する。**
3. 上口唇圧を排除することで**上顎前歯の前方誘導を促す。**

適応

機能性反対咬合、低位舌、前方拡大後の筋系バランスの改善・保定の補助、印象採得困難な低年齢児の反対咬合



装着して舌を挙上することで下顎の後退を確認
下顎が後退すれば**適応** 下顎が後退しなければ**適応外**

使用方法

1. 歯列・拡大床装置にあわせてサイズを選択する。
 2. 顎位の確認のため前歯部をカットしたパナシールドを別に用意して試適用し、舌が挙上し下顎が後退しているか、口腔内及び顔貌をチェックする。
 3. ほとんどの症例で不適合部は見られないが、試適用時に不適合部があれば調整を行う。
小帯部が当たる、後縁部が嘔吐反射を誘発する等あれば該当部位を金冠鋏でカットする。
 4. 舌が挙上されているか、口唇閉鎖と鼻呼吸が3分以上可能であるかなどチェックする。
- 基本的に就寝時に装着し、日中はタッチスティックによる訓練を併用する。
(床装置がある場合は装置の上からパナシールドを装着する)
 - 2歳頃から使用が可能であるが、嘔吐反射が激しいなどパナシールドの使用が不可能な場合はタッチスティックを使用する。その後、成長に応じてパナシールドの使用を試みる。

仕様

サイズ: パナシールドプラス S・L パナシールドプラス試適用 S・L

パナシールドプラスは、第一小臼歯より前方歯列の咬合面相当部が薄いので
前歯部より臼歯部で強く咬合することで、咬合の不安定な反対咬合症例に活用できる。

キャリアフレンド1

インスツルメント 7種 / 保持板 1個付き

使用目的

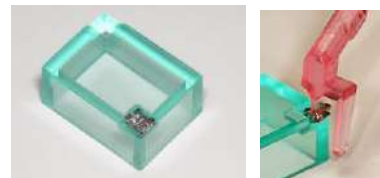
歯牙へブラケットを接着する際、各歯牙の定位置につける為のツールです



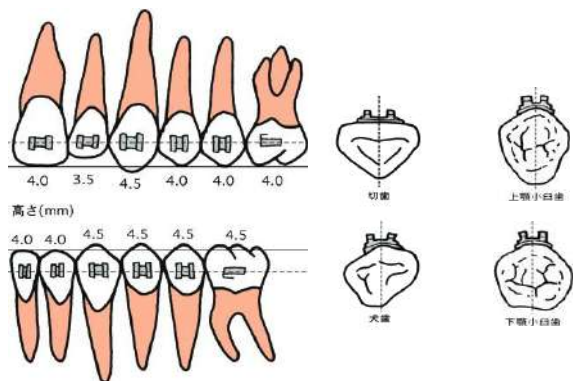
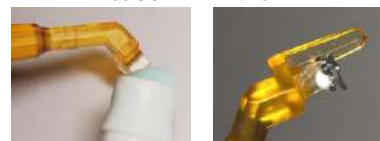
7種類(写真上から)

臼歯部用2本 4.0mm 赤
4.5mm 青
フリー(ガイドなし)1本 緑
スタンダード4本 3.5mm 黄
4.0mm ピンク
4.5mm 水色
5.0mm 黒

保持板: キャリアフレンド1でブラケットを保持する際に使用



※0.022規格のブラケットには、キャリアフレンドの保持部に歯磨剤等を付けることで保持できます。



参考: 各歯牙のブラケット設置部位

特徴-

◆スタンダードの構造



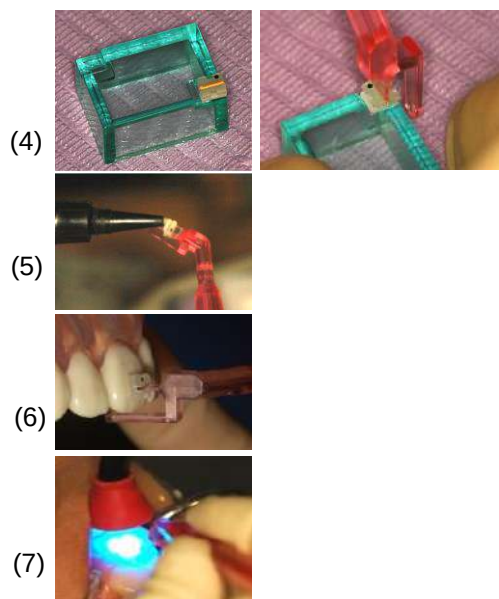
◆臼歯チューブ用の構造



使用方法 [光重合型セメント材を用いる場合]

1. 歯面清掃・防湿
2. エッチング・水洗
3. ボンディング
4. キャリアフレンドでブラケットを保持
ブラケットを保持板に乗せ、キャリアフレンド保持部をブラケットのスロットにはめる
5. ブラケット接着への接着材塗布
6. ブラケットを歯面へ圧接
キャリアフレンドのガイドを先端に合わせて、ブラケットを歯面へ圧接する
7. 光照射、余剰接着材の除去

※一人で操作する場合には、照射器を左手で持つと楽にブラケットを付けることができます。



キャリアフレンド2

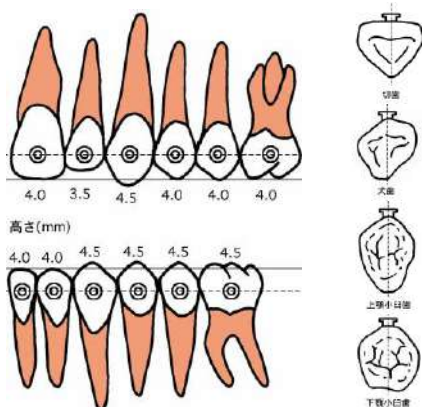
使用目的

歯牙へブラケットを接着する際、各歯牙の定位置につける為のツールです。



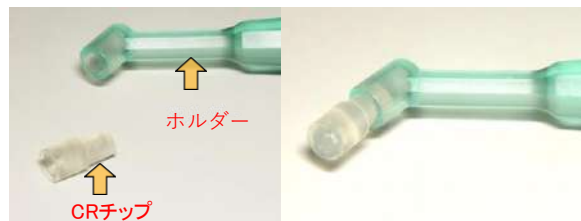
5種類

フリー：緑
3.5mm：黄
4.0mm：赤
4.5mm：青
5.0mm：黒



参考：各歯牙のブラケット設置部位(CRボタン)

一特徴一



CRボタン形成チップ(CRチップ)とホルダーからなるインスツルメントです。CRチップは2mm(半透明)と2.5(ブルー)の規格があります。
CRチップをホルダーに取り付け使用します。

1. 各位置設定基準への対応

各歯牙へのCRボタン接着にあたり、それぞれの位置基準に対応したインスツルメントを使うことができます。

2. 自由度を持たせたインスツルメント

CRボタン接着にあたり、保持部のみを備えた自由度のあるインスツルメント(緑)が使えます。
インスツルメント(緑)先端部は屈曲と直の形状を備えています。

使用方法

光重合型の材料を用いた歯面へのCRボタン接着の手順です。

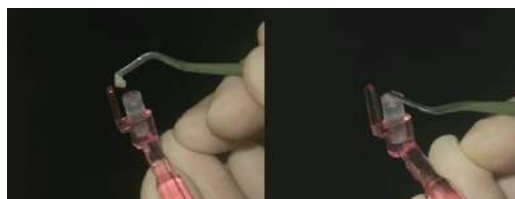
使用材料についての詳しい注意は各材料の説明書をお読みください。

各CR製品についての基本的な使用方法や注意は各材料の説明書をお読みください。

ボンディング材使用までの手順は各CR製品に準じます。

1. CRボタンの作成

CRをCRチップボタン形成部に充填・圧接します。



2. CRボタンを歯面へ付着と光照射

CRボタンをキャリアフレンドのガイドを利用して歯面へ付着します。

付着し歯面へ合わせた状態で光重合を行います。

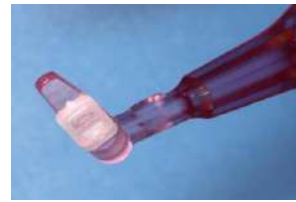
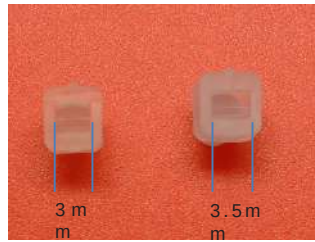


<注意事項> CRが歯牙へ接着するまでホルダーを動かさないように注意してください。

3. CRチップを外す

CRが完全に硬化したら、CRを破折させないように慎重にCRチップを歯面から外します。

CRブラケット(キャリアフレンド2先端チップ)



CRブラケットはキャリアフレンド2のシリコン製先端部の形態を変化・改善させたもので、ブラケットの形態のコンポジットレジン成型し作成するものです。シリコン成型部は幅径3mmと3.5mmの2種類を用意しました。

これまでのリンガルボタンでは使用に際してエラスティックゴムやパワーチェーンによって牽引したとき歯自身が傾斜や捻転して移動するという欠点がありました。今回CRブラケットを用いる事によりNi-Tiワイヤーに沿って歯が移動するため捻転がしにくくなりました。

リンガルボタンによって牽引を行い歯が捻転したもの



CRブラケット 使用法

CRブラケットのチップをキャリアフレンド2の先端部に挿入、設置します。

キャリアフレンド2付属のCRボタンと同様CRブラケットチップにコンポジットレジンを押入し準備します。

歯表面に充填時と同様に表面処理を行います。

既成ブラケットと同じように、歯の正しい位置に設置するためキャリアフレンドを用いて各歯種ごとに正しい位置を定め、チップを歯表面に圧接し、光照射により重合を行います。

Ni-Tiワイヤーを設置、固定しパワーチェーンにて牽引します。

※固定・牽引時CRブラケットの上下の溝が掛りにくい時には、バーなどで溝を深く加工すると使用しやすくなります。



使用例



バイオリンプル

使用目的

口腔内に装着したリンガルボタンやCRボタンにゴム(矯正用エラスティック)をかけやすくするフック(b)です。その他、床装置のクラスプ等のワイヤーにゴムを結ぶ機能(a)がついているので、ピンセットを持ち歩かずにゴム掛けが行なえます。装置のケースやゴムの袋に入る大きさで、収納も簡単です。

使用方法

(a) ◆ゴムをワイヤーに結ぶ

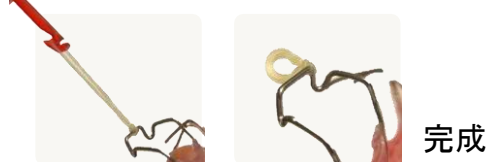
①ホールド部(↓)にゴムをかけ、指の上にフック部(↑)を下にしてのせます。



②ゴムの上にワイヤーをおき、指にゴムをおしつけながら反対側のゴム(↑)をフックでワイヤーの上からすくいます。



③すくったゴムをしっかりひっぱり、結び目をきつくします。

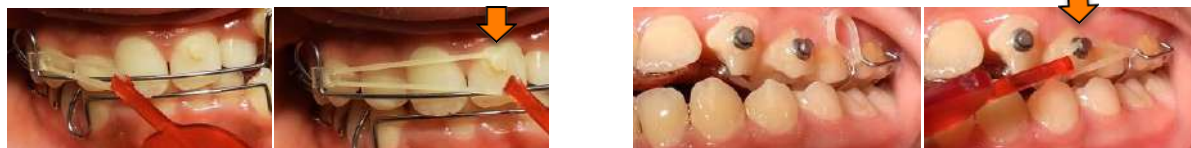


(b) ◆ボタンにゴムを掛ける

フックで歯のボタン(↓)にゴムをひっかけます。

前歯(側方拡大後の歯牙移動時等)

臼歯(後方移動後の歯牙移動時等)



指導上の注意

- ・バイオリンプルの使用が困難な場合はピンセットをご使用ください。
- ・低年齢の小児の場合には保護者へご指導ください。
- ・必ず十分な指導の下に患者様にお渡しください。
- ・目的用途以外の使用は避け、使用時のトラブルは各医院で対処をお願い致します。

その他

- ・ホールド部やフック部を使用し、他のゴムの使用も可能です。例)マルチブラケットの顎間ゴム等



バイオリンプルの動画が「YouTube」で見られます。

患者さんへの指導のサポートやスタッフの指導等にお使いください。



モジュールホルダー

使用目的

マルチブラケット法によるワイヤーの結紮をモジュールゴムで行なう場合に用います。

Straight Shooter®リガチャーガンを用いたモジュールゴム(エラストック)の取り換えを、素早くできるようにする補助器具です。

左手の指にはめる事で、リガチャーガンを使いやすくします。

注意:リガチャーガン(TP orthodontic japan)やモジュールゴム、両面テープ等は付属しておりませんので、市販品をご利用ください。

使用方法[光重合型セメント材を用いる場合]

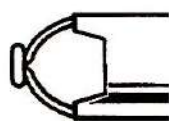
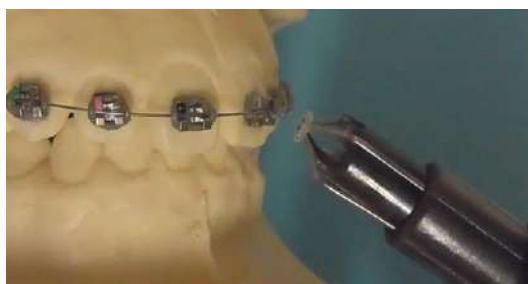
▶ モジュールゴムのセット法

モジュールホルダーの取っ手のついた板面に市販の両面テープを貼付けます。モジュールホルダーの板状の坂にモジュールゴムを並べます。両面テープの部分を並べたモジュールゴムに押し付けて接着させます。

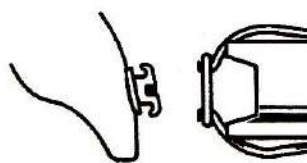


▶ 使用法

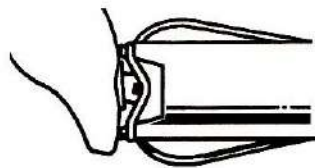
指にはめたモジュールホルダーにリガチャーガンの先端を押し付けて、リガチャーガンにモジュールゴムをセットし、ブラケットにゴムを装着させます。



Ready



Aim



Fire

デンタルチェーンN

使用目的



特定の歯を一方方向に動かしたい場合にデンタルチェーンNを使用します。
フックやボタンと一緒に使用でき簡単で安価です。
リングチェーンの間隔は使用する部位と移動力により3サイズから選択。
各 4メートル ナロー／ミディアム／ワイド

保管方法: 遮光・防湿袋に入れ冷暗所にて保管ください。(日本製)

使用方法

1. 歯面を清掃後、用意したボタンを接着させます。
2. 歯面に圧接し余剰セメントを除去します。 硬化させた後デンタルチェーンNをかけます。

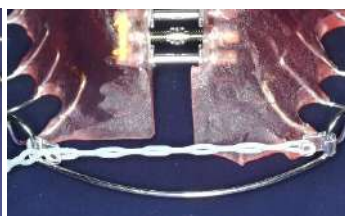
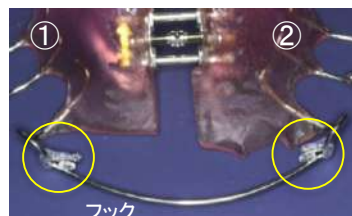


※実際の症例 チェーン左下

症例① 離開が生じた上顎4前歯を口蓋側に寄せたい(歯槽性前歯前突の改善)

★面接触になるため、唇側線を絞るだけよりも早く確実に動かせます

1. フックを2つ付けます。 2. デンタルチェーンNを引っ掛けてかけます。



口腔内に入れたところ

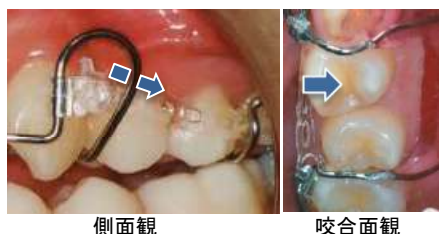


使用前

使用后

症例② フレアして交叉咬合ぎみの小臼歯を口蓋側に動かしたい

★チェーンが歯に当たるように通すことが大事



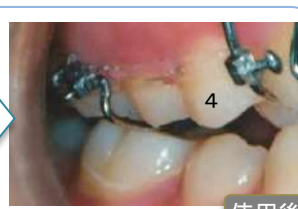
側面観

咬合面観



右上4がフレアしている

使用前



使用后

ボタンがあたって痛い場合

* ユーティリティワックスを米粒ぶ大に丸め
部位を乾燥させた後ボタンにつけて保護します。(別売り)

リンガルボタンが頬・口唇粘膜にあたって痛い場合にはワックスを付与して保護します。



悪習慣改善シール(リマインダーシール)



使用目的

悪習慣を起こしやすい場所(机、テレビ、食卓)にシールを貼っておくことで悪習慣の改善を日常的に思い出すことができます。

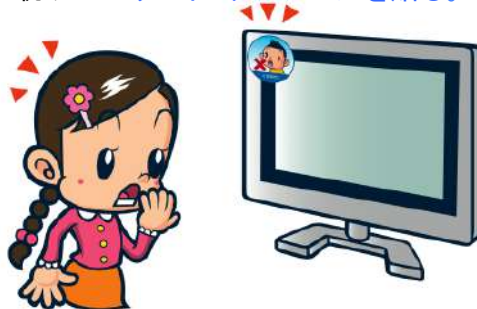
子どもの悪習慣の改善にはリマインダーが有効です。

リマインダーとは忘れてはいけないことを思い出す方法です。
好ましくない無意識の行動を、いけないことであるとはっきり意識することで、
悪習慣を改善する方法の一つです。バーバルリマインダーとノンバーバルリマインダーがあります。

例: 口をポカンと開けている子どもに
母親が口の前でバツンとつくり合図を行う。



例: 口ポカンとあけている子どもの
机やTVにリマインダーシールを貼る。



バーバルリマインダー:

「やめなさい」というような言葉による注意
欠点として両親に口うるさく言われ続けるため、子どもにストレスがかかり、治療を
続けたいという気持ちに悪影響を及ぼすことがあります。

ノンバーバルリマインダー:

言葉以外の方法で伝えられるシグナル
(表情、しぐさ、ボディランゲージ、手作りのサイン、シール)

これらを有効に活用して悪習慣を改善しましょう！

床矯正治療のチェアサイド資料



チェアサイドに最適！

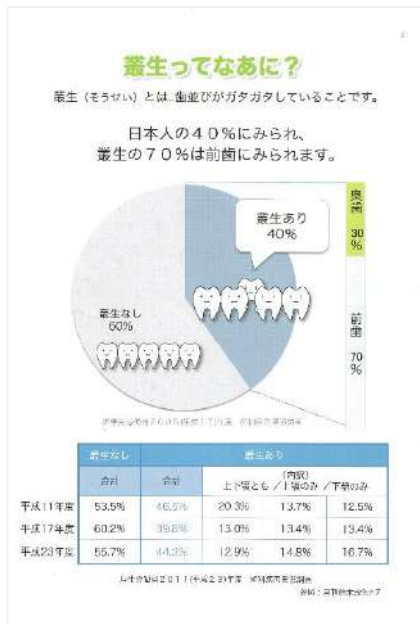
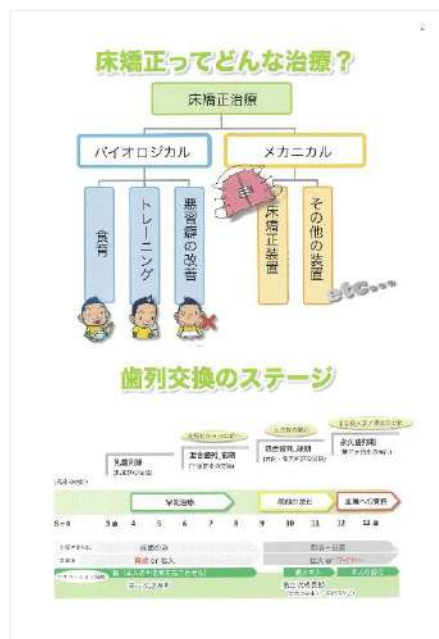
使用目的

床矯正ってどんな治療？叢生ってなあに？

患者が抱く疑問、不安にしっかり答えるには、治療説明を**症例写真&図解付資料**を提示し視覚で訴えるのが効果的です。治療に関する重要度の高いトピックを専門的知識に基づきまとめた1冊です。

【目次サンプル】

- ・歯間幅径・歯の欠損・正中の不一致・顔面の不一致
 - ・顔面の成長・抜歯治療との比較・歯槽骨
 - ・小児成長時期・バイオリジカル・レントゲン
 - ・症例・乳歯の削合・バイオセラピー
- ※リングファイル式なので資料追加の為の取り外しが可能



患者説明用小冊子シリーズ



床矯正・矯正治療を始める患者説明用小冊子シリーズ

装置の取り扱い、口腔周囲筋を発達させる食育、トレーニング方法、ブラッシングの仕方、用途別にご用意しています。

イラストや写真があって分かりやすく、患者さんがお持ち帰りしやすいコンパクトサイズ。

大切な部分に線を引いて説明漏れを防いだり、治療中の「聞いた聞いてない」のトラブルを防ぐことができる患者説明に最適なツール！

床矯正治療のはじめかた



使用目的

これから床矯正治療をはじめる患者さんへの装置の取り扱い説明用冊子です。

装置の取扱いを理解して、スムーズに治療を終わらせることが目標です。

本書では床装置の入れ方・外し方、ネジの巻き方、床装置の入れる時間など床装置の基本的な取扱いと注意事項、床矯正トラブル対処について説明しています。

同意書「床矯正治療を検討されている患者様へ」がついてきます。

患者説明用小冊子シリーズ

床矯正・矯正治療の食育



使用目的

口腔周囲筋を発達させる食育についてまとめた説明用小冊子です。

歯並びを治すのは機械的な矯正の力だけでなく、自分の「噛む」力がとても大切です。

毎日の食事で「よくかむ」ことが口の働きを活発にして、顎、筋肉と骨を育て安定した歯並びを整えます。

かむかむレシピや症例、Q&Aも掲載しているので、患者さんへの食育の説明に最適です。

床矯正・矯正治療のバイオセラピー

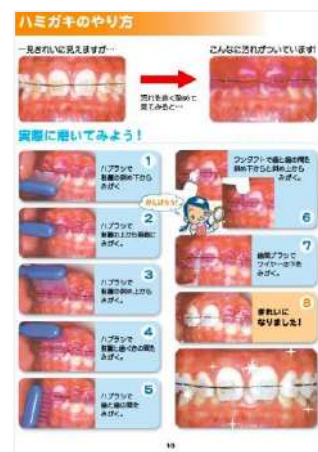


使用目的

矯正治療中にトレーニングが必要になった場合の各種トレーニング法を説明した冊子です。

正しい機能を得るためには、どうすれば良いでしょう？自分の体の正しい発育と機能がキレイな歯並びへと導いてくれます。口周りの筋肉のトレーニング方法やセルフチェックリストを使った悪習癖の見つけ方、悪習癖を改善する方法も掲載しております。

床矯正・矯正治療のブラッシング



使用目的

矯正治療中の患者さんにブラッシングを促す説明用小冊子です。

上手なハミガキで矯正中もキレイ！

矯正治療中は今までと違って、お口の中に装置が入っています。正しいハミガキと正しい生活をしていれば、虫歯や歯肉炎などのお口のトラブルは起こりません。床装置やワイヤー矯正装置についても載せてあり、広い範囲で使用できます。

床矯正カレンダー(シール付)



写真はイメージです。

使用目的

カレンダーに書き込むことで楽しみながら装置を装着できます！
モチベーションの向上と習慣化の一助となります！

床矯正装置を使用している患者さん向けのオリジナルカレンダーです。
床矯正がなかなか進まない患者さんの多くに装置の装着不足が上げられます。
日ごとに装置の使用時間・スクリューを巻く予定、巻いた日、トレーニングの有無を記入ができます！



ネジを巻いたら
○を塗りつぶします

予定を書いたり、
付属のシールを貼るスペース

床装置のネジを
巻く予定の日○を書きます

例：ネジを巻く日を水曜日と
土曜日とした場合の記入方法

1月 (睦月) 月の花：水仙		巻いた日	トレーニング	装着時間	備考
1 水	元日			6 時	
2 木	書初め			6 時	
3 金				6 時	
4 土				6 時	
5 日	シンデレラの日			6 時	
6 月				6 時	
7 火	七重			6 時	
8 水				6 時	
9 木	とんちの日			6 時	
10 金				6 時	
11 土	開き			6 時	
12 日				6 時	
13 月	成人の日			6 時	
14 火	夕顔・ジロの日			6 時	
15 水	いちごの日			6 時	
16 木				6 時	

装置を装着した時間の
合計を書き込みます

12時間30分装着した場合は
12.5と記入します

装置を装着した
時間帯を塗りつぶします

色んなトレーニングを
した日を塗りつぶします

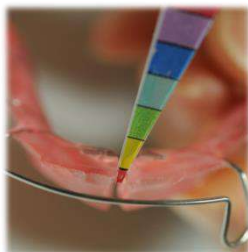
Illustration: Yuka Eto

パナチェッカー

使用目的

装置の拡大量を分かりやすくし、
患者さんのモチベーションを上げることを目的とします。

使用方法



三角形で7色の色分けと各色の間に白線が入っています。

先端近くの白線の長さが0.8ミリ
(約1ヶ月=4回転分)。
以降、白線は幅1ミリごとを示しています。
拡大装置のスクリー付近の床の間に差し込んで測ります。

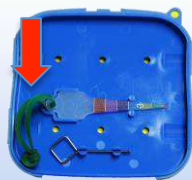
● 症例 ●



装着1ヶ月目 順調に開いています
適合も良好です 14時間入れています



「上手にできてるかな?」「上手だね、グッドだね!」



パナチェッカーには
リボン(矢印)やキーホルダーをつけられます

パナチェッカーがセットできるようにオリジナルケースもリニューアルしました。
パナチェッカーの表面の色は剥げやすいため、裏向きにセットしてください。



ケースに貼るシールもセットです



床矯正装置ケース



床矯正装置を入れて携帯できる専用ケースです。

床矯正装置を入れるオリジナルケースです。

拡大床のスクリーを回すスクリーのホルダーとパナチェッカーホルダーがケースに埋め込まれています。

パナチェッカーと日付シールは1ケース1つ付属しています。

(スクリーキーは付属しておりません。)

車のケースにはオリジナルシールが付属しており、患者さんのモチベーションをアップさせます。

上下二つの床を入れることができます。パナチェッカー(拡大量を測るゲージ)と、測った結果を記入できるシール付きです。

内面にパナチェッカーとスクリーキーをセットするホルダーがついています。

※成人で高口蓋の場合、蓋が閉まらないことがまれにあります。



模型保管箱



記入例



サイズ : 50 × 75 × 150mm

患者さんの石膏模型は、治療結果を診査したり患者さんやその保護者へ治療の成果を示すのに効果的ですが、破損しやすく場所をとります。

模型を入れるのに適したサイズの紙箱に入れれば、破損を防ぎかつ積み上げて保管できます。小児の小さい石膏模型なら3対、永久歯列の大きい石膏模型なら2対程度入ります。

「床矯正日記」の使い方

使用目的

パナチェッカーで測定した数値を患者さん自らグラフ化して、目標の時期に拡大を終わらせることを目指します。

特徴

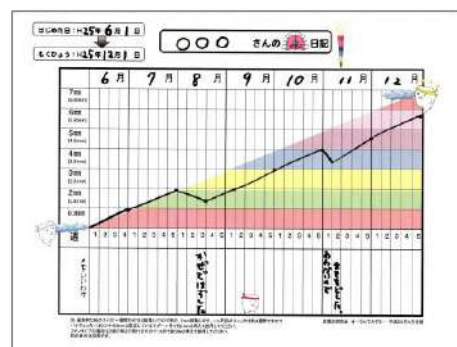
平成25年9月にためしてガッテンの元ディレクター北折一先生に床矯正研究会でご講演を頂きました。ためしてガッテンは有名な「計るだけダイエット」があります。折れ線グラフが上げ下げしながらも徐々に下がっていくことでやる気を引き出し、それを分析する習慣をつけることで、効果がさらにあがるというものです。これを、床矯正に応用しました。

床矯正のモチベーションをあげるツールとしてお使いください。

※計るだけダイエットについては「計るだけダイエット NHK」で検索

使用方法

- ①目安として装置セットから約1ヶ月のタイミングでお渡しします。
- ②巻き方、進み具合をパナチェッカーで確認します。
- ③グラフの斜めの線上のペースですすめられるように、グラフの記入の仕方を説明します。
- ④モチベーションをあげる工夫として、患者さん自身に「がんばるぞ」等の抱負を書きこんでもらったり、プリクラシールを貼ったりします。
- ⑤定期的にチェックして、必要があれば進み具合を患者さんと相談する。



記入例)

・はじめの日、目標の日を設定する。

上段の月を記入する

※注意

1週間に90° 進める場合以外は月の記入の調整を行う。例)ファンタイプの場合には2倍の早さで動く。

2マスを一ヶ月とする。45°を週1回と半分のペースで巻く場合には、1マス2ヶ月分を記入する。この場合、下段の週数には関係なくなる事を説明する。

・装置を巻き戻した、ネジを巻かなかった時には、その理由「メモ・いいわけ」欄に記入する。また、その場合の進み具合をパナチェッカーで測定し、記入する。

ブレスケール

使用目的

鼻息量を測定するためのツールです。

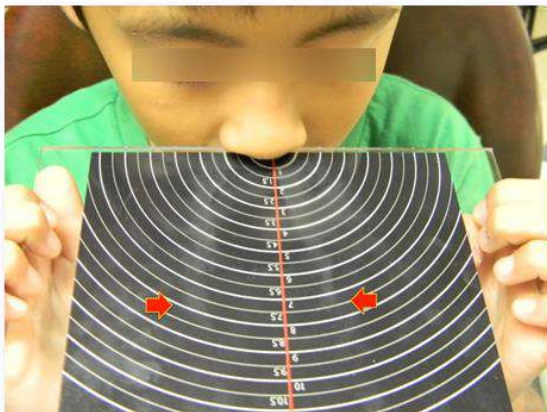
鼻呼吸の診査・診断がチェアサイドで簡単にできます。患者さんや保護者が結果を数値で見ることができるので、悪習慣である口呼吸の改善指導をする際に役立ちます。

幼少期から学童期の子供の20～30%が口呼吸をしているとの報告もあり治療の一環として役立ちます。開口と口呼吸は歯列に大きく影響する悪習癖です。口呼吸により口がいつも開いていると表情筋が緩み低位舌になります。舌筋や口輪筋により口腔内のバランスが崩れると叢生や開咬、下顎後退を引き起こす要因となります。

使用方法

1. 鼻の下に当てて、口を閉じた状態で鼻息を直接スケールに当てます。
2. 曇り度合いを数値でみて、目盛りの数字をカルテに記録します。

計測例・診査項目



チェック項目

- ☐ 鼻息が無理なくスムーズに出ているか
- ☐ 左右均等に出ているのか
- ☐ 量はどのくらいでているのか

使用に当たって鼻息が確認しづらい場合

- ▶ テンプレート自体を冷蔵庫で冷却するか、冷却スプレーを当てた後に計測を行う。
- ▶ もしくはシリンジのエアーを当てた後に計測を行ってください。

参考メモ

- ▶ 問診で得るのはもちろんですが、様々なツールを使い時間をかけて調べるのが大切です。
- ▶ アレルギーや風邪で鼻がつまっているため鼻呼吸の力が弱い場合は、まずは耳鼻科への通院をオススメしましょう。
- ▶ 鼻腔通気度計(図1)などの測定機器も使われていますが、ブレスケールは、チェアサイドで簡便に使用ができます。
- ▶ 口で呼吸している人は口が開いてしまっています。鼻呼吸改善グッズもいろいろと販売されており試してみるのも良いかもしれません。就寝時に口を閉じる習慣を身につけるには、別商品で販売している鼻呼吸口止めテープ(セレブリーズ)(図2)の使用がオススメです。

図1



図2



ゴールデンテンプレート

使用目的

正面観の顔貌の偏位を測定するテンプレートです。

顔貌の正中は、正面観により左右瞳孔の中心と眉間、人中、オトガイの先端を結んだ線です。正中を基準として、テンプレートで偏位を観察し写真撮影を行います。

患者さんも保護者も、関心があるのは顔貌だと思います。

顔貌は骨格と歯列、筋肉から成り立っています。特に片咬みなど咀嚼筋の習癖のある患者さんは、その兆候が必ず顔貌に現れます。初診時に問題ないと判断されたケースでも、成長とともに予測もつかない問題が起こることもあります。顔面の変化を常に慎重に観察し記録を残します。

使用方法

図1

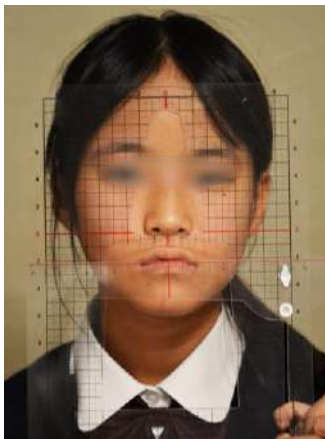
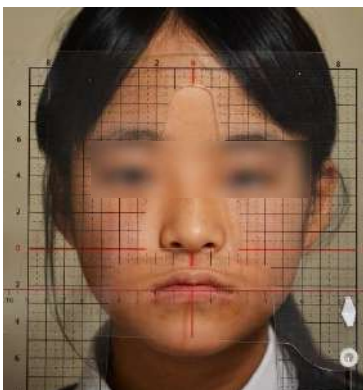


図2



1. 図1を参考に患者さんの顔にあて、赤いラインを正中に合わせ左右の顔貌の偏位を比べます。
2. 眉間、人中、オトガイ中央に合わせ正面より撮影します。このとき、長髪の場合は髪をまとめて、前髪をピンでとめることで左右のズレが比較しやすくなります。左右のバランス及び、目・口・鼻の位置、大きさを比較します。
3. 測定バーを用いて、赤いラインを正中に合わせ顔面下方の偏位と大きさ、長さを比較します。

チェック項目

- ☐ 顔がまがっている、左右の顔の形がちがう
- ☐ 目の位置が左右均等か、大きさ及び下垂
- ☐ 口唇が左右均等か、大きさ及び下垂
- ☐ オトガイの位置のズレを確認
- ☐ 下顎骨のズレを確認

参考メモ

- ▶ 偏位の原因は歯列、姿勢、骨格などによるものと、頬杖、睡眠時姿勢などの習癖によるものなど、単純に原因を特定することは困難です。顔貌の偏位を見つけたときは、歯列の確認、姿勢の確認と写真撮影を行い、習癖の問診を行います。
- ▶ 歯並びの問題は、顔の問題に関係しています。成長期に偏位した骨の形は一生変わりません。トレーニングをすることで筋肉のバランスを良くすることが大切です。

テンプレートに関する記載はないですが、詳しくは「口腔機能をはぐむバイオセラピープロモーション」42～48ページをご覧ください。

アーチ測定Tスケール

使用目的

犬歯間距離と前方発育比を測定するためのツールです。

将来の顎の発育予測と叢生が発症するかの予測が行えます。

マスタ小児矯正歯科医院:増田 純一先生考案スケール。

叢生が発症する原因の多くは歯列のスペース不足です。

そのため、床矯正治療では拡大処置を施術し、犬歯間に4前歯が並ぶことを基本としています。また、床矯正では犬歯間距離を重視していますが、実際は犬歯間の拡大と下図1のような前歯部の前方の発育が必要です。

使用方法

上顎模型の犬歯にアーチ測定Tスケールをあて犬歯間の距離を測定します。(図2)

犬歯間の距離をBとして、その中央から正中迄の距離Aとの比を計測し将来の顎の発育や、叢生が発症する予想をします。この比が小さければ前歯部の発育不足を意味します。犬歯比(B/A) が3以上の数値を目安とします。

測定例

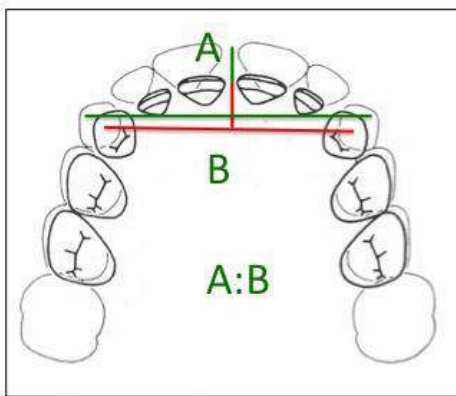


図1

乳歯列完成期から介在期までの歯列の変化。永久歯列が、先行乳歯よりずっと前方に位置してきます。また、犬歯間距離が増大してきます。対応する左右側臼歯間距離の増大はわずかです。

【参考文献】Van der Linden (著)
三浦不二夫、黒田敬之(共訳): 歯／歯列の発育、クイン
テッセンス出版、東京、1984、70頁

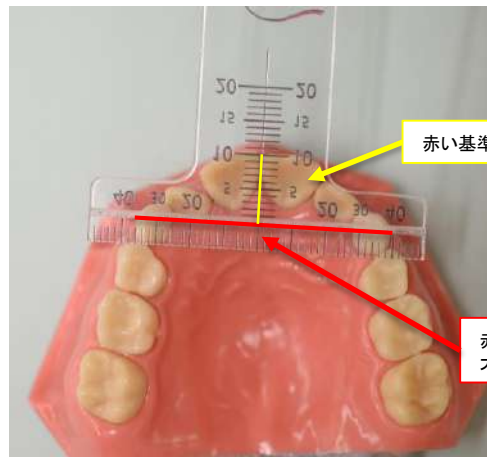


図2

犬歯間距離は、犬歯(乳犬歯)の遠心部または尖頭から測定するなど基準値を統一して測定を行います。

参考

犬歯比と口蓋型の関連

口蓋の形を客観的な指標として、「犬歯比」を挙げることができます。増田純一先生の書籍で詳しく紹介がされています。Bの幅が広いほど口蓋はきれいなO型口蓋であり、逆にBの幅が狭くAが長くなるほどV型に近くなります。犬歯比(B/A)が大きいほど口蓋はゆったりとしたO型口蓋、小さいほど尖った△型あるいはV型口蓋になります。

トレーニングによって犬歯比は改善する可能性があることも示されています。力強い口腔機能の発達で、口蓋を理想的な形へと発達させます。犬歯比は将来の顎の発育を予測する基準となります。実際に、犬歯比の測定を臨床で行うことができるようになれば、乳幼児に対して、口腔機能不全の予防や対策を講じることが可能になるでしょう。いずれにしても、乳児期からしっかりと口腔機能を発達させていくことが、理想的な口蓋を形成するためには極めて重要です。

【参考文献】 増田純一(著): Health Dentistry II フレイル予防は口にある。グレードル出版、東京、2017、29頁

方眼スクリーン

使用目的

歯列・咬合と姿勢は互いに影響し合っています。全身写真撮影は患者さんの普段の姿勢が不正咬合の原因になっていないか診査するための重要な検査項目です。

撮影の背景に方眼のスクリーンと垂直測定器を用いることで、頭位の傾き・姿勢の左右の対称性などが簡単に分かります。

セット内容

- 方眼ロールスクリーン
- 垂直測定器(下げ振り)
- 全身写真撮影マニュアル



サイズ：2種類

タイプ1 W1000×H2000cm

タイプ2 W1300×H2400cm

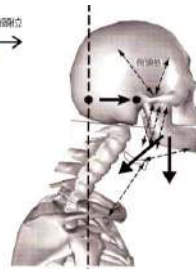
姿勢の診査で最も注意すべき姿勢は前頭位(頭部前方位)です

姿勢が悪い、猫背(体が後にひける)

→バランスをとるためにお腹と頭が前に出る(=前頭位)

→首が前傾した分下顎が後下方へ引っ張られて後退する

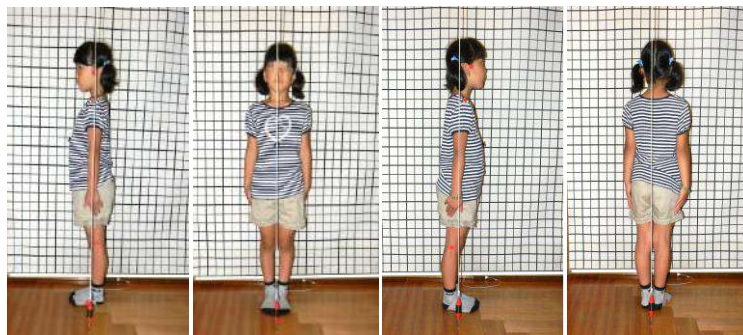
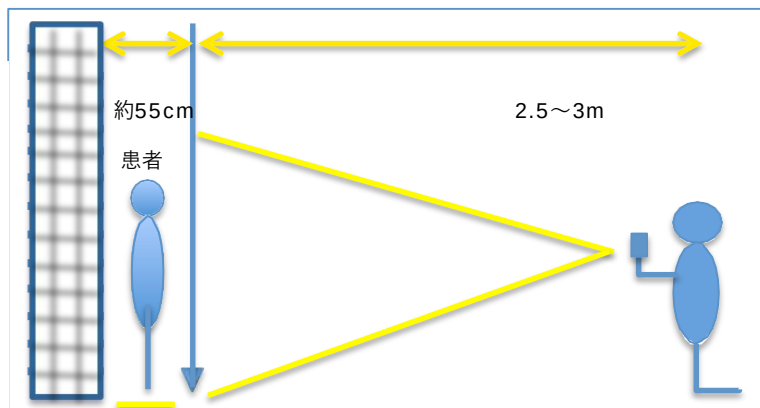
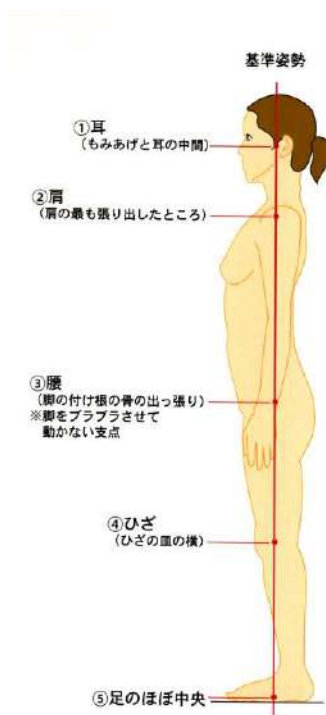
⇒下顎の後退(アングルⅡ級)、口呼吸、低位置などの不正咬合の悪習癖を誘発する場合があります。



猫背

頭が前に出ると下顎が下がる

使用方法



SPテンプレート

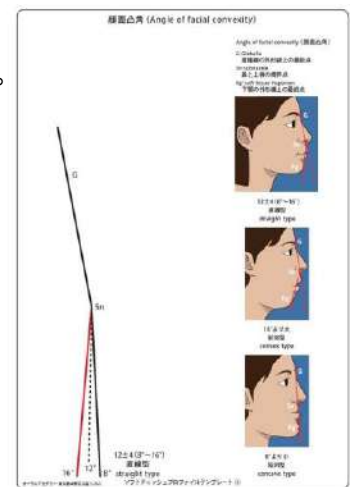
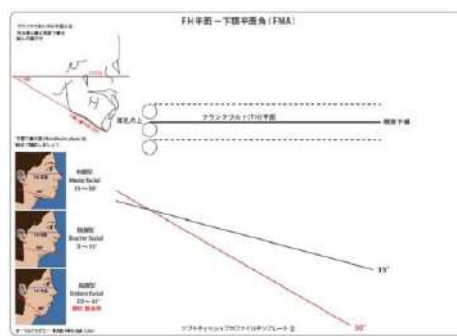
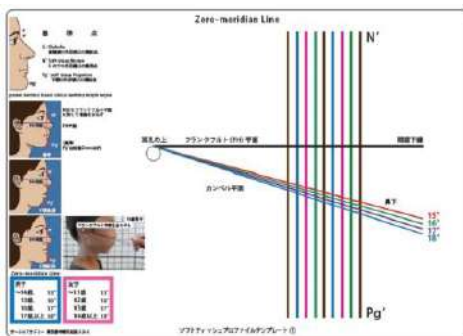
使用目的

矯正治療を行う上で、下顎前突や開咬、下顎後退のような骨格性の問題が生じている可能性のある症例には、セファログラム(頭部X線規格写真)による骨格の評価は重要です。しかし、セファログラム分析の煩雑さ、また、X線室の改築等コスト面でも分析導入は敷居の高いものです。SPテンプレートは、セファログラム分析が普及していなかった時代に軟組織プロファイル分析とよばれ診断に使用されてきた方法で、それに基づいて開発された骨格を簡便に分析できるツールです。

使用方法

3枚のSPテンプレートを用いて簡便な軟組織プロファイル分析ができます

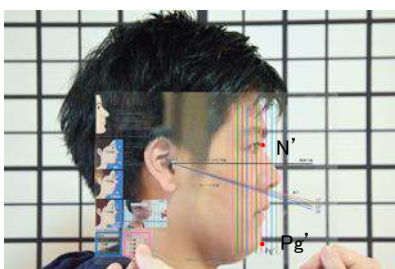
患者さんの横顔にテンプレートをかざし、印刷されているイラストを参考に考察します。



SPテンプレートNo.1 Zero-meridian line

頭蓋に対しての下顎の前突及び後退量の診断に使用

●N'から平面FHに垂直に下ろした線は、Pg'の位置で、顔面に対するオトガイの位置を評価する。



SPテンプレートNo.2 Mandibular plane angle

前後顔面高のバランス(開咬傾向)と下顎の回転方向の診断に使用

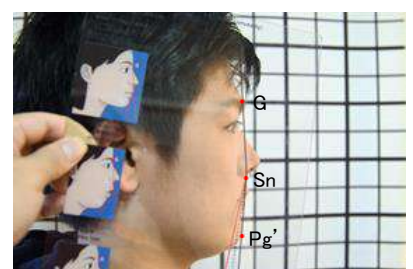
●FH平面と下顎下縁平面がなす角度を評価します。



SPテンプレートNo.3 Angle of convexity

前額部とオトガイ部を結んだ線と中顔面部の前後的位置から側貌の突出度の診断に使用

●GとSnとPg'を結んだ線がなす角度を評価します。



軟組織プロファイル(soft tissue profile)の基準点

軟組織プロファイルの基準点は多々ありますが、簡便にするために、

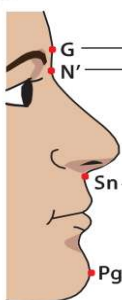
G(Giabeia):眉隆線の外形線上の最前点

N'(Soft tissue Nasion):Gの下外形線上の最深点

Sn(Subnasale):鼻と上唇の境界点

Pg'(Soft tissue Pogonion):B'の下顎の外形線上の最前点

以上4つの点に絞っています。



ORAL ACADEMY

オーラルアカデミー

165-0025 東京都中野区沼袋3-30-15
TEL:03-5380-2336 FAX:03-3389-6810

2021年6月版